

「ヒト」と「ブンカ」をつなぐ情報誌

# HCF news

HAMAMATSU  
CULTURAL FOUNDATION

Vol. 30  
2018 autumn

特集1

いよいよ開幕  
栄光を目指すピアニストに熱い声援を  
この秋、  
第10回浜松国際ピアノコンクールへ

特集2

「生きている」音楽、それがジャズ  
エネルギーのスパイラルを感じてほしい  
ジャズピアニスト  
小曾根 真 インタビュー



公益財団法人  
浜松市文化振興財団  
Hamamatsu Cultural Foundation

contents

04		[特集1] この秋、 第10回浜松国際ピアノコンクールへ
14		[特集2] ジャズピアニスト 小曾根 真 インタビュー
18		オークラアクティホテル浜松 ホテルクラウンパレス浜松
20		[各館つれづれ便り] 浜松市浜北文化センター／クリエート浜松 アクティシティ浜松／浜松市天竜壬生ホール
22		[のんびり、ゆっくり、みゅーじあむvol.19～楽器博物館～] 明治150年・浜松・ピアノコンクール
24		[こだわりの食とともにコンサートの余韻を楽しむ] OCTAGON BREWING～オクタゴンブルーイング～ 百里
26		HCF Event Schedule
30		[コンサートにお出掛け、その前に…] ヤマハミュージックリテイリング浜松店
31		[INTRODUCTION NOTES～音楽へのいざない～] Vol.2 これぞ名人芸！聴衆が熱狂した 「ヴィルトゥオーゾ」たち

はじまりはいつも、  
ヒトツの感動から。

この秋開催される浜松国際ピアノコンクールは、第10回目を迎える。

第1回の開催は1991年、あれからもう27年が経とうとしている。  
当時は若くてまだまだ荒削りだった出場者も、今や円熟を増し艶やかな音色を奏でるピアニストへと変わり、世界中で活躍している。

このコンクールは直木賞を受賞した小説にも取り上げられ、最近では調律師を題材にした小説・映画も話題となるなか、今回はどのようなドラマが待ち受けているのかと思うと、「事実は小説よりも奇なり」の言葉どおり開幕が待ち遠しくなる。

奏でた瞬間に消えていく音楽の儚さと、それに情熱を込めるピアニストの姿。ライブで聴くその贅沢な時間は、色彩豊かな空間として記憶に残り、その出逢いを計ることのできない永遠のものへと変えていく。

私たち浜松市文化振興財団は、これからも音楽との素晴らしい出逢いを提供し続けてまいります。  
すべてのはじまりは、そう、ヒトツの感動から。

公益財団法人  
浜松市文化振興財団  
Hamamatsu Cultural Foundation

今月の表紙



静岡文化芸術大学  
デザイン学部2年  
鈴木 友香(すずきともか)

作品名「木鳥」

この作品は金属の銅板をひたすらたたいて器の形に形成する「鍛金」という技法を学ぶ授業の一環として制作したものです。  
金属など立体物を製作する授業のなかで、何か生き物をかたどった作品を作りたいと思い、金属に合いそうな「鳥」をモチーフにしたビジュアルを考えました。

# この秋、 第10回浜松国際ピアノコンクールへ

THE 10th HAMAMATSU INTERNATIONAL PIANO COMPETITION

さあ、いよいよ浜松国際ピアノコンクール開催の時期となりました。浜松市の市制80周年を記念して1991年に創設され、3年に1度開催してきたこのコンクールも今回で第10回。小川典子審査委員長のもと、11人の審査員と約80名(予定)の若きピアニストたちが浜松に集結し、熱い戦いを繰り広げます。コンクールは2週間にわたる長丁場。第3次予選までを勝ち抜いた6人だけが本選の舞台に立てるのです。あなたもお気に入りのピアニストを見つけにきてみませんか。

## コンクール開催スケジュール Competition schedule

2018.11.6[火]~8[木]

### 出場者受付&ピアノ選び

続々と出場者が浜松へ。事務局で受付を済ませたら、いよいよコンクールのスタートです。



2018.11.15[木]~17[土]

### 第2次予選(中ホール)

第1次予選を突破した24人(予定)が第2次予選に進みます。演奏時間は一人40分以内。課題曲は古典派、ロマン派、近・現代作品のうち2つ以上の異なる時代区分から2作品以上と今回のために作曲された日本人作曲家(佐々木冬彦氏)による新作品。世界初演となる日本人作品は、一人一人の感性が表現される興味深い課題曲。聴き比べるのも面白いですね。



2018.11.18[日]



2018.11.24[土] 表彰式

第1~6位と日本人作品最優秀演奏賞、奨励賞、室内楽賞、そして聴衆賞の発表が行われます。第1位獲得者には、賞金のほか、2020年3月までに国内外でのソロリサイタルやオーケストラとの協演の機会が与えられます。



2018.11.22[木]



2018.11.25[日]

### 入賞者披露演奏会(大ホール)

コンクールの興奮冷めやらぬ表彰式の翌日、入賞者が自分で選んだ曲を演奏します。会場全体が温かい祝福ムードに包まれます。



2018.11.7[水]

### オープニングコンサート(大ホール)

アレクサンダー・ガジェヴ(第9回コンクール第1位)

2018.11.8[木]

### 出場順抽選会



2018.11.19[月]~20[火]

### 第3次予選(中ホール)

第2次予選を勝ち抜いた12人(予定)による第3次予選。課題曲は、室内楽の協演(モーツァルトのピアノ四重奏曲第1番もしくは第2番)、そして自由選曲によるソロリサイタルで演奏時間は一人70分以内。会場の雰囲気もリサイタルのような熱気に包まれ、ロビーでは、演奏の講評を語り合う姿があちらこちらで見られます。



2018.11.23[金]~24[土]

### 本選(大ホール)

いよいよ、長い予選を勝ち抜いた6名(予定)による本選です。指定されたピアノ協奏曲のうち1曲を選択し、オーケストラと協演します。演奏は東京交響楽団、指揮は高関健さん。出場者たちは最後の舞台上に全エネルギーをかけて臨みます。栄冠は誰の頭上に輝くのでしょうか!



2018.11.9[金]~13[火]

### 第1次予選(中ホール)

5日間にわたって行われる第1次予選。演奏時間は一人20分以内。課題曲は練習曲1曲以上を含む自由曲。お客様から要望が多かった「エチュード(練習曲)」が新たに課題曲となりました。



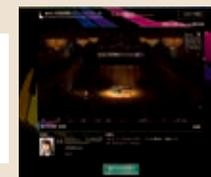
ここにも注目!

映像配信・公式HP

浜松国際ピアノコンクールでは、予選から本選、入賞者披露演奏会までの全演奏をほぼリアルタイムでライブ配信するほか、公式HPへも最新情報をアップする予定です。



▲公式HP





記者会見終了後、ロバティンスキー（2位）、三浦謙司（奨励賞）と

ピアニスト（第9回浜松国際ピアノコンクール優勝者）

# アレクサンダー・ガジェヴ

ALEXANDER GADJIEV | interview

第9回優勝者のアレクサンダー・ガジェヴさん。11月7日、前回優勝者としてコンクールの幕開けを飾るオープニングコンサートに出演する彼にお話を伺いました。コンクール期間中は明るく、さわやかな若者らしさを見せていたガジェヴさん。あれから3年、どんな成長を見せてくれるのでしょうか。



栄えある第1位を獲得

■コンクール優勝から3年。現在までどんな音楽家生活を過ごしていましたか？

たくさん旅をして多くの出会いを経験しました。

多くの国を訪れているような発見をし、新しい曲もたくさん勉強して…とても楽しかったです。

■コンクール翌年の優勝者ツアーでは日本各地、世界各国で演奏しましたね。

ツアーは最高でしたし、とてもきちんと運営されていました。街から街へ電車や新幹線で移動したり、到着したその日や翌日に演奏したりという日々は、自分が国際的なアーティストになったと感じた初めてのことで、本当にエキサイティングな経験でした。



表彰式後、振り袖姿の女性たちと



入賞者披露演奏会のカーテンコール

■来日前のイメージと実際に来日した時の日本の印象は違いましたか。

来日前は正直言ってよく知りませんでした。日本といえばアニメ、そしてとっても美味しい日本食を数回食べたことがある、といった程度でした。しかし来日後はもっと多くのことに気づきました（もちろん日本食が大好きなことは変わっていません！）。日本では友達もできて、このユニークな国を取り巻く文化や伝統が大好きになりました。

■日本食で今、特に好きなものは？

前なら躊躇なく「トンカツ！」と答えていましたが、今は「全部大好き！」と言わざるを得ません。

■コンクール期間中、印象に残っている瞬間を2つ教えてください。

1つ目は、優勝者自分だというアナウンスが流れた時です。信じられなかったし、本当に光栄でした。2つ目は、本選後に起きたもっと素敵な出来事です。演奏が終わり、舞台袖から会場ロビーへ出た時、ちよ



本選演奏後、ロビーでお客様に迎えられる

うど休憩時間で多くのお客さんが僕のところに来てくれたのですが、その中に出場した仲間たちがいて。彼ら全員とアイコンタクトしてハグしあったのですが、それがとても感動的な出来事で忘れられません。

■演奏するときに心がけていること、大切にしていることは何ですか？

常に自分の音を聴き、この音の中で表現性を伝えるようにしています。演奏している曲のムードに入ること、自分の魂が鏡のように曲の真意や趣旨を反映できるよう努めています。

■演奏家として、今後挑戦してみたいことは？

近い将来の目標としては、今練習しているショパンの練習曲Op.25と、ラフマニノフのピアノ協奏曲3番を完成させることです。

■最後に、オープニングコンサートを楽しみにしているお客様へのメッセージを。

*Dear audience, I would like to see as many of you as possible and I am very very much looking forward to coming back to Hamamatsu, which feels to me like a second home. I hope you will enjoy the music!* (出来るだけ多くの皆様にお会いできればと思っています。第2の故郷である浜松に戻って来られること、とてもとても楽しみにしています。皆様楽しんでもらえたら嬉しいです。)



## 予備審査&記者会見レポート

Report

### 予備審査

5月21日(月)~27日(日)、カワイ表参道 コンサート サロン「パウゼ」においてDVD予備審査が行われました。小川典子審査委員長、迫昭嘉、田部京子、石井克典の各専門委員の先生方による7日間にわたる361人の予備審査の結果、21カ国1地域95人のピアニストが浜松コンクールへの参加を認められました。前回に比べ、最年少は14歳と若く、最年長も30歳と長くなりました。また、日本人は25人が承認されました。日本人の活躍にも大いに期待したいですね。



### 記者会見

6月1日(金)、東京のベルサール八重洲で記者発表を行い、出場承認者やチケット販売等について発表しました。審査委員長の小川典子さんは「本番は大変高いレベルが期待できます。個性が強く、世界にそのまま通用するようなピアニストが出てくれれば」、実行委員会長の鈴木康友浜松



市長は「今回も若い優秀なピアニストが現れて、世界の舞台へ羽ばたいてもらえたら」とコメントしました。応募総数は37ヶ国1地域から382人で、最年少は13歳、最年長は30歳であることなどが発表されました。記者会見には多くのマスコミ・音楽業界関係者が集まり、コンクールへの期待の高さがうかがえます！



## 市内パネル展&アクトシティロビー写真展

Exhibition

### 市内パネル展〈4月~11月〉

コンクールの歴史を紹介する「第10回浜松国際ピアノコンクール展」が市内各地で始まっています。市内各区の会場を巡回して、9月に中区、10月に南区、そして11月にはアクトシティ内に展示します。1991年から始まる27年の歴史をじっくりご覧ください。



プレ葉ウォーク浜北(浜北区)

はまゆう図書館(西区)

### 写真展『コンクールの軌跡』～記憶に残るあの瞬間～ 〈9/15 (土)~11/25 (日)〉

前回に引き続き、アクトシティ浜松において写真展を開催します。9/16・17のガラ・コンサートからコンクール最終日まで、歴代の審査委員長及び優勝者の写真がアクトシティの市民ロビーを印象的に飾ります。あの感動が甦るひと時をどうぞお楽しみに。



コラム

第10回浜松国際ピアノコンクールに寄せて  
～若者たちの競演に期待～

森岡 葉

**第**10回浜松国際ピアノコンクールが、11月8日から25日まで18日間にわたって開催される。3年ごとに巡って来るこの時期、ピアノに情熱を燃やす世界中の若者たちが浜松に集い、多くのボランティア・スタッフが温かく彼らをサポートし、アクトシティ浜松を中心に「楽器と音楽のまち」が生き生きと輝く。

昨年、浜松国際ピアノコンクールをモデルにした恩田陸さんの長編小説『蜜蜂と遠雷』が、直木賞と本屋大賞を受賞して大きな話題を呼んだ。過去4大会を客席で取材した恩田さんの描写は実にリアルだ。恩田さんは、2003年の第5回コンクールで書類審査から漏れ、ウィーンのアオーディションで参加を認められたラファウ・ブレハッチが最高位になったときの演奏を聴いて、コンクールをテーマにした小説を書こうと思い立ったという。

ストーリーの中心となる4人のピアニストは、養蜂家の父と世界各地を転々としながら伝説のピアニストの教えを受けた16歳の風間塵、天才少女として活躍したにもかかわらず母の死のショックでキャリアを中断した20歳の英伝亜夜、彼女の幼なじみで思いがけずコンクールで再会を果たした19歳のマサル・カルロス・レヴィ・アナートル、楽器店に勤務し、すでに妻子がいる28歳の高島明石。互いの音楽に心を揺さぶられ、コンクールを通して大きく成長していく彼らの姿は、清々しく魅力的だ。気分転換に浜辺に出かけたり、鰻を食べたりする場面も

微笑ましい。恩田さんの巧みな文章で、彼らを取り巻くそのほかのコンテスタント、審査員の心理なども鮮やかに描かれ、浜松のコンクールを長年聴いている人なら、具体的なイメージが目に浮かび、これはあの人かな?と想像が膨らむことだろう。

さて、今回のコンクールだが、6月1日に東京で記者会見が行われ、出場者が発表された。37カ国1地域の382名から応募があり、7日間にわたるDVD審査を経て、21カ国1地域の95名のコンテスタントが出揃い、いよいよコンクールへの期待が高まる。DVD審査のポイントは、より深い表現ができているか、鍵盤をどれだけ自分のものとして表現しているかということだったという。近年、世界中の大きなコンクールが参加者を30名程度に絞っている中で、浜松のコンクールには100名近いコンテスタントが参加できる。思いがけない逸材に出会う可能性があるということだ。最年少は14歳、最年長は30歳、さまざまな背景を背負ったコンテスタントたちの競演、どのような展開になるのだろうか。

第1次予選にエチュードが復活したことについて、小川典子審査委員長は、「前回の聴衆の皆様からエチュードが聴きたかったという声が多く、DVDの予備審査にもエチュードを課題に入れましたが、今の若い人たちは私たちがコンクールに参加していた頃、曲芸的と思っていた超絶技巧のエチュードを軽々と弾きこなしています。問題は、その先の表現

ができるかどうかです。エチュードを入れると審査がしやすいと思ったのですが、かえって難しくなるかもしれないと思っています」と語った。

そのほかの変更点は、すべてのラウンドで日本人作品が選択肢として選べること。日本で開催される国際コンクールとしての特徴が打ち出され、それは小川典子審査委員長の音楽家としての姿勢につながっている。第2次予選の課題の佐々木冬彦氏による委嘱作品を、それぞれのコンテスタントがどのように料理するかも興味深い。

「凄いレベルになると思います」と小川典子審査委員長。創設から27年、第10回という節目を迎える今回、「浜松から世界の檜舞台に直接ピアニストを送り込みたい」という小川典子審査委員長の意気込みに応えて、どのようなドラマが繰り広げられ、どのようなスターが生まれるのだろうか、待ちきれないほど楽しみだ。



# イベント 小さなピアニスト コンサート

世界中のピアニストたちが浜松に集まる「第10回浜松国際ピアノコンクール」。プレイベントとして7/29、8/5の両日「小さなピアニストコンサート」を開催しました！演奏してくれたのは、5歳から中学生の浜松市内の子供たち。可愛らしい71名のピアニストが夏休みのひと時、素敵なパフォーマンスをしてくれましたよ。



2018.7/29(日)14:00～  
プレ葉ウォーク浜北 1Fプレ葉コート



2018.8/5(日)14:00～  
イオンモール浜松市野 1Fシンフォニーコート

## 期間中にはシティコンサート スクールコンサートも

コンクールで惜しくも先に進めなかった出場者には、市内の学校や商業施設などでの演奏機会が設けられています。スクールコンサートでは演奏はもちろん、授業や給食など子供たちとの交流も。世界レベルの演奏が目の前で聴けるまたとない機会。中には、一般のご家庭にホームステイする出場者もいるなど、今回も世界から集まるピアニストと市民の交流が行われていくことでしょう。



homestay



City concert



School concert

## コラボ商品 グッズ&スイーツ

コンクールを盛り上げるため、市内のスイーツショップとのコラボが実現。皆さんのお近くのお店を見つけたら、ぜひ寄ってみてください。各店のパティシエが腕を振るった「ピアノコンクール公認スイーツ」です。



### 公認スイーツ

1 オークラクトシティホテル浜松  
ホテルオークラ ベーカリー&カフェ

「ピアノロール」 1,200円(税込)  
中区板屋町111-2 ☎053-459-0729

販売期間 | 11/8(木)～25(日)

2 ホテルクラウンパレス浜松  
1階ロビーラウンジ「ラボ」

「ハーモニー」1,100円(サービス料・税込)  
中区板屋町110-17 ☎053-452-5111

販売期間 | 11/8(木)～25(日)

3 4 ラ・ヴェリテ

③「トーンハニー～蜂蜜とレモンのエクレア～」280円(税抜)  
④「ピアノ・ショコラ」 400円(税抜)  
西区大平台3丁目11-14 ☎053-485-3022

販売期間 | 11月中

5 パティスリー ル・タン

「ピアノ・ルトタン」 463円(税抜)  
西区入野町8864-1 ☎053-449-5530

販売期間 | コンクール期間中の土・日

6 グランジュテ

「L'ensemble du café  
アンサンブル・カフェ」 420円(税抜)  
西区入野町9745-1 ☎053-440-6636

販売期間 | コンクール期間中の土・日

7 カフェ・コンディトライリープリング

「ココクラピア」 600円(税抜)  
北区東三方町128-5 ☎053-414-2866

販売期間 | 11/8(木)～25(日)

8 巖邑堂 袖紫ヶ森店

「奏」 1,300円(税込)  
東区神立町字袖紫ヶ森136-10 ☎053-545-3232

販売期間 | 11/8(木)～25(日)

こちらは、各店舗での販売となります。  
(ただし、⑧のみコンクール会場限定販売)  
営業時間、定休日などは公式ウェブサイトをご覧ください。

公式ウェブサイト

www.hipic.jp

その他、コンクール公式グッズも販売。他では手に入らない期間限定品です！



クリアファイル(2種)黒/白 各200円(税込)



トートバッグ 300円(税込)



一筆箋 400円(税込)

その他  
公式プログラム  
なども

ここでご紹介できなかった商品については、随時ホームページなどに掲載していきますので、そちらもご覧ください。

# 小曾根真

ジャズピアニスト  
インタビュー



## MAKOTO OZONE

世界のスペシャルアーティストを迎えてお送りしているアクト・プレミアム・シリーズ。今回は、ジャズピアニストの小曾根真さんが登場。12月17日にアクトシティ浜松で開催する「小曾根真 THE TRIO クリスマス・ジャズ・ナイト 2018」に先駆け、小曾根さんのルーツやミュージシャンとして積み重ねてきた経験などについて伺いました。

3月23日 (株)ヤマハミュージックマニュファクチャリング ハーモニープラザにて 文・撮影 / (公財)浜松市文化振興財団



### ■ジャズピアニストとなったきっかけを教えてください。

父がジャズミュージシャン、ジャズピアニストだったことが一番大きな理由です。そう言うと英才教育なんて言われてしまいますが、実はほとんど独学。好きなことを続けて今ここにいます。5歳の時にバイエルをやったピアノ嫌い、クラシック嫌いになった僕が、最近はクラシックをやったレコーディングまでするなんて夢にも思いませんでした(笑)。これは周りにいたジャズやクラシックの一流の方々が「型でものを言う」人たちでなかったことが大きいです。我流でジャズをやってきた僕ですが、それを認めて称えてくれた一流のミュージシャンたちに助けられて、今日があると思っています。

### ■お父様がジャズを強く薦めてくださったのですか？

いいえ。父は仕事で忙しくほとんど家にいませんでしたね。「才能」という言葉があるとすれば、元々うまかったわけではなく、好きな音楽ができる環境にいられたということ。勉強も練習も嫌いだったけれど、「うまくなりたい」「この曲を弾きたい」というはっきりした自分のゴールがあるから練習する。人にあてがわれたのではなく全部自分で選んでやってきました。ジャズは自分の個性を作ることがすごく大事な音楽だけど、僕はオスカー・ピーターソンの真似をして満足していた。まだ19才くらいの時、パークリー音楽大学のすごい先生に「君は真似ばかりしているけど、それだけ弾けるなら自分の音楽を作れ」って言われたのに「ほっといてくれ」って言ったことがあるんです(笑)。ピアノもそこそこ弾けたので、色々なバンドに呼ばれて様々な音楽を聴いたり演奏したりしました。でも、本当にやりたい音楽じゃないとなかなか身につかなかったですね。そういう意味

では遠回りもしましたけど、すごく贅沢な人生を歩ませてもらいました。

### ■ジャズの面白さ、魅力はどんなところでしょうか。

すごくシンプルに言うと、ジャズは「今生まれる」音楽。昔からある音楽でも、今日弾くのと明日弾くのとでは全然違う。ライブっていうのは「生きている」ってことです。ジャズは弾くことが決まっていなくて、イントロも昨日と違います。上手くなると型でできるようになって、色々なパターンを自分で作ってはそのパターンに呪縛され、それを毎回壊していきます。壊すといっても、昨日上手くいったことを使わないようにするという意味。ジャズは分かるようにしなくてもいい。何が起きているかを見たり、生きた会話として聴いたりする感じです。ステージ上の僕らの会話(音楽)は何がでてくるか分からないおもちゃ箱みたいなものですよ。

### ■近年はクラシック音楽、特にオーケストラと積極的に共演されていますね。

札幌交響楽団から2003年の定期演奏会のオファーをいただいたのが最初です。尾高忠明さんの指揮でしたが、実はその更に10年くらい前、尾高さんが「いつか小曾根君と『ラブソディ・イン・ブルー』をやりたい」とラジオで言っていたのを知っていた



ので「やります！」ってふたつ返事で引き受けました。それで、マネージャーに「曲目はラブソディだと思っただけで一応確認しておいて」ってお願いしたら、「あの、モーツァルトって仰ってるんですけど…」って。え？もう一回確認したけど、やっぱりモーツァルト。もうキャンセルできへんなあ、とすぐにモーツァルトのピアノ・コンチェルト全集の8枚組CDを買って10日かけて27曲全部聴きました。その中から第9番の「ジュノーム」を選んだんです。本番は何を弾いたか分からないくらい緊張したんですけど、そこから話が広がって、音楽祭やオーケストラの定期演奏会などオファーが来るようになりました。

■ちなみに、一番好きなクラシック曲は何ですか？

やっぱりプロコフィエフの「ピアノ協奏曲第3番」でしょう。オスカー・ピーターソンみたいに弾くのがゴールだった僕が、突然デビューが決まりレコードを出すことになったんですが「やばい、あの時先生の言うこと聞いてればよかった」と思った時には時すでに遅く、何を弾いてもピーターソンのクローンみたいになるので、ジャズはやめて自分の作曲した曲だけでやろうと思って。でもジャズのフレーズだとピーターソンが出てくるので、「クラシックだ！」とピアニストの友達に聞いたらプロコフィエフの第3番を薦められました。聴いてみたら、もうノックアウト。涙を流すほど感動して、そこから勉強して作曲



のアイデアをもらって完成したのが、デビューアルバム「OZONE」です。あれは一番何にも置き換えられない曲ですね。

■アメリカと日本でお客様の聴き方に違いはありますか？

日本の方はお行儀が良いです。クラシックで“楽章間の拍手はダメ”という人もいますけど、僕は拍手したくならしてもいいと思います。アメリカは、特にジャズでは決まりは無く、ソロが終わると拍手が起きます。日本のお客さんは「ありがとう」っていう拍手だけど、アメリカは「ブラボー（よくやった）！」ってお客さんと演奏者が対等。貪欲に音楽を感じにくるし、それが正解かどうかなんて気にしない。その代わりに、もしつまらなかったらブーイングです。楽章間、曲間でサッと帰っちゃう人もいます。アメリカ人は自分の感情で関わってリアクションを返すことの喜びや楽しみをよく知っていますね。日本のお客さんは、終わったら拍手をワーッと返してくれますけど、「え、そんな気に入ってた？」ってドキドキします。静かに聴いている分グッと世界に入ってくれていると思うから、どちらも好きです。

■奥様（女優：神野三鈴さん）とは、表現者としてお互いに刺激しあう部分はありますか？

芝居も音楽と一緒に、作ることに生みの苦しみがあり、コミュニケーションの相手が必ずいます。芝居でセリフを言っているときに後ろで邪魔な動きをしたらやっぱりうるさい芝居になるし、僕がソロで演奏しているときも同じ。彼女が良い芝居をしたら「素晴らしいかった」と言うし、彼女も僕の演奏の一番痛いところを指摘してくれます。基本的には称えあいながら、そんな感じで夫婦をやっています。

■音楽と離れる時間、好んでしていることは何ですか？音楽以外のご趣味は？

最近では、音楽と離れることはあまり無いですが、音楽以外だと車が好きです。ドライブするのも好きですね。ピアニストにあるまじきことですが、昔は故障するとエンジンの中に手を入れて、よくケガをしました。車好きには壊れる車ほどかわいいけれど、浜松には新幹線で行きます（笑）。

■12月の「クリスマス・ジャズ・ナイト」の聴きどころについて教えてください。

生きている自由さ、喜びをそのまま音で表現できる2人。技術は半端ないです。こんなにジョイに溢れた音楽は無いんじゃないかってくらいの3人の会話、エネルギーのスパイラルに皆さんを引きずり込みます。絶対、元気にしますから。何が起こるか分からないワクワク感はまさに予測不能です。全てがハプニングで何が起こるか分からないので、それを皆さんに楽しんでいただける2時間にします。音楽を聴きに来るっていうより、エネルギーをキャッチしに来る、みたいに考えてもらえれば嬉しいです。次の年に向かっていくエネルギーを皆さんにお届けします！

■その他、これから共演してみたいアーティストやこれからの目標について教えてください。

昔からアルゲリッチとは一緒にやろうって何回か話はしているんですけど、いいところまでいくと突然返事が来なくなる。それが3回くらい（笑）。彼女とモーツァルトとか共演してみたいです。最近では、映画監督の河瀬直美さんに声をかけてもらって、「vision」という作品で初めて映画音楽を書きました。映画音楽はまたやってみたいですね。

■最後に、浜松のファンのみなさまにメッセージをお願いします。

浜松はご縁もあるし、自分にとってはすごく近い街。ジャズのイベントなどもありますし、文化レベル、意識が高いと感じます。こんなに素晴らしいコンサートシリーズに入れて頂けて、好きな浜松の街に自分の音楽を持っていけることをすごく楽しみにしています。



小曾根真 MAKOTO OZONE

1983年バークリー音大ジャズ専攻・編曲科を首席で卒業。同年米CBSと日本人初のレコード専属契約を結び、アルバム「OZONE」で全世界デビュー。ソロ・ライブをはじめ世界的なトッププレイヤーとの共演や、自身のビッグ・バンド「No Name Horses」を率いるなど、ジャズの最前線で活躍。また、クラシックにも本格的に取り組み、NYフィル、サンフランシスコ響等、国内外の主要オーケストラと共演を重ねる。映画音楽など、作曲にも意欲的に取り組み、多彩な才能でジャンルを超え世界的な躍進を続けている。2018年紫綬褒章受章。オフィシャル・サイト <http://makotoozone.com/>

ACTS Premium Series アクト・プレミアム・シリーズ2018 ~世界の名演奏家たち~Vol.9

人気No.1ジャズ・ピアニスト、小曾根真が音楽ファンに贈る  
小曾根真 THE TRIO  
クリスマス・ジャズ・ナイト2018

2018年12月17日(月) 開場18:30 開演19:00

●アクトシティ浜松 中ホール チケット絶賛発売中!

●全席指定: 5席8,000円  
A席6,500円  
B席5,000円  
学生B席2,500円 (24歳以下)

※未就学児の入場はご遠慮ください。  
●文化事業課:053-451-1114 ©Shino Yanagawa



Okura  
ACT CITY HOTEL  
HAMAMATSU

## オークラアクティシティホテル浜松

OKURA ACT CITY HOTEL HAMAMATSU



ホテル31階にある鉄板焼「さざんか」では、厳選された黒毛和牛をはじめ、新鮮な魚介類や野菜を鉄板焼でお楽しみいただけます。

地上約130メートルに位置しており、昼には南側の景色を、夜には煌く夜景を楽しみながら、お食事と焼き手のパフォーマンスをご堪能ください。コース料理では、サラダや焼野菜、シーフードはもちろん、メインのステーキには、A4ランクの黒毛和牛をご用意しています。ディナータイムには米沢牛をお選びいただくこともできます。

パフォーマンスを行う焼き手は、社内で行われる独自の試験に合格した者のみが行います。調理工程の中でも見所の「フランベサービス」は、香り付けのために鉄板にアルコールを落とし、炎が高く上がる豪快なパフォーマンスです。驚きの詰まった一瞬のパフォーマンスを、お写真や動画でも残してみてください。

また10月には「山形・米沢フェア」を開催いたします。ランチタイムには山形県産豚ロースや山形県産黒毛和牛のほか、山形の食材を使ったサラダや焼野菜が楽しめる「デラックスランチ(6,500円)」、ディナータイムでは米沢牛のサーロインとフィレの両方が楽しめる「料理長おすすめディナー (14,500円)」をご用意します。是非この機会にご賞味ください。

※写真はイメージです。  
※表示価格はすべて税金・サービス料を含む金額です。

### 鉄板焼「さざんか」

浜松市中区板屋町111-2 オークラアクティシティホテル浜松31階  
【営業時間】 ランチ 11:30 ~ 14:00(土日祝 ~ 14:30)  
ディナー 17:30 ~ 21:00

【レストラン予約受付】053-458-1233(9:00 ~ 20:00)



焼き手による  
フランベのパフォーマンス



HOTEL CROWN PALAIS  
HAMAMATSU

## ホテルクラウンパレス浜松

HOTEL CROWN PALAIS HAMAMATSU



中国料理 鳳凰 総料理長  
平成30年春の褒章  
「黄綬褒章」受章  
岡部 悟

中国料理 鳳凰 薬膳ランチ  
お1人様 3,500円(税込)2名様より

※写真はイメージです。

ホテルクラウンパレス浜松、中国料理鳳凰の総料理長、岡部悟が平成30年春の褒章「黄綬褒章」を受章いたしました。中国料理の料理人として一筋に励み続け、食材の効能を活かした薬膳料理にこだわり、美味健康を追求。

料理の腕を振るう傍ら、講演会など薬膳の普及活動や後進の育成にも力を入れてきたことが評価されました。受章の喜びと、皆様への感謝を忘れず、これからも「美味しく食べて健康に」をテーマに日々精進してまいります。

毎週水曜日はハッピーデー。楊貴妃ランチ・薬膳ランチが15%OFFとなります。

### 中国料理 鳳凰

浜松市中区板屋町110-17 ホテルクラウンパレス浜松14階 TEL.053-454-0632  
【営業時間】 ランチ/11:30 ~ 14:30 (ラストオーダー14:00)  
ディナー/17:30 ~ 21:30 (ラストオーダー20:30)

# （各館つれづれ便り）

INFORMATION FROM EACH FACILITY

## 》浜北文化センターから

担当：長谷川



浜北文化センターでは、平成26年から冬に「ふれあい感謝祭」を開催しています。（昨年度は空調設備入替工事の影響で中止になりましたが、今年度は復活します！）これは～文化センターご利用者様感謝祭・日頃のご利用に感謝を込めて～の副題のとおり、浜松市内に複数ある公共施設の中から浜北文化センターを定期的にご利用くださる方々に年に1回発表の場をご提供して、サークル活動

のPRに役立てていただこうという思いで開催を始めた催しです。6月中旬から、定期利用者の方々に今年度の申し込みのお声がけを始め、『昨年はお休みで寂しかった』『今年はあるのね！張り切って練習しなきゃ』などの多くの反響をいただき、職員一同とても励みになっています。昨年度にお休みの分、12月8日(土)・9日(日)の開催に向けて職員も気合を入れて準備を進めます！



## 》クリエート浜松から

担当：佐伯



秋は実りの季節。さまざまな文化団体の皆様が、日頃の活動の成果を発表するためクリエート浜松にいらっしゃいます。音楽発表会やギャラリーでの作品展示など、用途も多岐にわたります。スタッフも仕事をしながらふれあい広場から聞こえてくる演奏に耳を傾けたり、取材に赴いたギャラリーで力作に驚いたり、毎年芸術の秋を体感しています。常連の方からはじめて利用されるという方まで、快適に施設をご利用いただけるよう、スタッフ一同できる限り協力させていただきます。

きたいと思っておりますので、まずはお気軽にご相談いただければと思います。「とくにこれといった活動をしていないんだけど…」という方も、ぜひこの季節にはクリエートへ足をお運びください。無料でご覧いただける展示会やコンサートがたくさん開催されますので、新しい扉を開く一歩となるかもしれせん。皆様のご来館をお待ちしております。



市内各地の文化施設から、旬のイベントやスタッフのお勧め情報をご紹介します。

## 》アクトシティ浜松から

担当：中村



### 》アクトの「なるほど！」を探検してみよう②

アクトシティ浜松が浜松市のど真ん中に位置するようになってから来年で25年を迎えます。浜松市のシンボルタワーとして浜松の街並みに欠かせない存在となりました。

では、それ以前の街並みはどんな様子だったのでしょうか？

昭和36年(1961年)、地上を走る線路上に立ち並ぶ倉庫。アクトシティ浜松の歴史は鉄道高架、用地取得から始まりました。ぐんと時間は経過し、平成3年(1991年)に工事が着工。第2次世界大戦の不発弾が2発も見つかるというアクシデントに見舞われながらも、



昭和36年(1961年)

平成5年(1993年)完成間近の写真です。浜松の歴史をずっと見守ってきたアクトシティ。あなたにとってアクトシティはどんな存在ですか？

この秋、25周年プレイベントとして、市民の皆様からいただいた写真による「アクトシティ写真展」の開催を予定しています。いろいろな思い出の1ページを飾ったアクトシティをぜひご覧ください。そして来年の25周年を盛り上げていきましょう！



平成3年(1991年)



平成5年(1993年)

## 》天竜壬生ホールから

担当：中谷



このたび第2回となる「みぶアーティストコンサート」を開催しました。アーティストの参加を募ったところ、子供から大人まで幅広い年齢層と多彩なジャンルから14組総勢63名の方々に出演いただくことができ、ギター弾き語り、ピアノ演奏、歌謡舞踊、ミュージカル、ダンスなど多種多様な演出でお客様を魅了しました。

このイベントをきっかけにして、多方面で活動や交流の輪が広がっていくことを期待しています。

現在、ホールは天井の落下防止対策工事中

ですが、工事完了の10月下旬からは地域の皆さんの様々なイベントや当館主催の事業を多数計画しています。詳しくは、HPやイベントカレンダー等でご紹介していきますので、楽しみにお待ちください。



みぶアーティストコンサート



楽器博物館

のんびり  
ゆつくり  
みゅーじあむ

vol.19

## 明治150年・浜松・ピアノコンクール

楽器博物館 館長 嶋 和彦

浜松国際ピアノコンクールが2か月後に迫りました。3年毎の開催で、もう10回目です。地方都市での国際コンクールとしては老舗ですし、国際的な評価も大きくなりました。これまでの先人の努力に改めて感謝したいと思います。

さて、今回のタイトル「明治150年・浜松・ピアノコンクール」。この3つの言葉には一体どんな関係があるのでしょうか。

言うまでもなく、ピアノは生まれも育ちもヨーロッパの楽器です。いつどこにどんなピアノが初めて日本に入ってきたのか、残念ながら正確にはわかりません。わかっているのは、日本に残っている一番古いピアノが、江戸時代の文政6年(1823)に、長崎出島のオランダ商館医として日本に来た有名なドイツ人医師、博物学者のシーボルトが持ってきたピアノであるということです。それは1806年イギリス製で、グランド型でもアップライト型でもない、四角(スクエア)いテーブルのような、スクエアピアノです。今も山口県萩市の



楽器博物館の、明治・大正・昭和のリードオルガンとピアノ展示室

熊谷美術館に保管されています。

その後、幕末の開国、そして明治維新、文明開化の世の中へと、日本は激動の時代を迎えます。政治の首都は東京ですが、日本が手本とした西洋文化が入ってくる玄関口は、横浜や神戸といった大きな港町でした。外国の商人が多数居住し、金融、貿易、経済の中心となりました。彼らは文化的水準も高く、ピアノを自国から持ってきて楽しむ人もいました。キリスト教という精神文化も幕末から日本に急速に広まりました。宣教師は讃美歌を教えるために、自国から足踏みリードオルガンを持参するなどして、オルガンとピアノは同時に社会に広まっていったのです。

外国人の文化度や教養度の高さを構成する要素のひとつは音楽や美術などの芸術だ、だから我々日本人も、西洋に追いつき追いつくには西洋音楽や美術を学ばねばならない、と国の指導者が考えたのも無理はないでしょう。その結果、廃仏毀釈やら日本美術の廃棄など、日本文化の極端な排斥運動が起こったことは負の遺産です。しかし、西洋風の教育制度である学制を明治5年にいち早く制定し、人々が学ばねばならない教科に唱歌、つまり音楽を取り入れたことは、その後の日本人と西洋音楽との関係を決定づけたと言えます。文部省が定めた小学唱歌を、学校で皆で



小学唱歌初版(明治14・1881)



特別展「リードオルガンがくれた幸せ」(2015)



リードオルガン大会公開コンサートで、オルガン伴奏で歌う『浜松ライオネット児童合唱団』(2018)

でもどこでも皆で一緒に歌える、という状況は世界的にも稀有であり、国の宝と言えましょう。

この歴史の蓄積があればこそ、日本人が西洋音楽の分野で、ピアノであれヴァイオリンであれ、作曲であれ指揮であれ、世界的レベルに到達し、国民全体としても優れた音楽的能力を得たのだと言えましょう。浜松のピアノコンクールも実はこのストーリーの最先端に位置しているわけです。

最後に、浜松と明治150年との関係は、ということになるのですが、浜松はこの西洋音楽の明治維新での展開に、全国レベルで大きな貢献をしたのだ、と私は思っています。浜松産の今のピアノや管楽器が世界的レベルであること以上に、明治の世に浜松が、というより山葉寅楠という紀州出身の人物が、町や村の予算をもってしても買えないような超高額な外国製の足踏み



6月に開催されたリードオルガンDAY (2018)

一緒に歌い、それが何十年も繰り返され、やがて日本人の心のよりどころとなり、日本人なら誰でも

リードオルガンに代わるべく、安価でかつ上質の足踏みリードオルガンを作り、日本中の学校が購入できるようにし、そのおかげで、唱歌の授業や、運動会のお遊戯の伴奏ができるようになったわけですから、このオルガンが無ければ、国民全体としての西洋音楽のレベルは上がらなかったはずですが、ですから浜松産の足踏みリードオルガンは、ビジネスを超えて、とてつもなく大きな社会貢献をしたのです。

最先端の楽器やイベントといった目の前の事象にだけ注目するのではなく、歴史を知り先人の功績を称え今に生かすこと。それが品格ある都市の要件でありましょう。明治150年の今、浜松のオルガン作りの歴史を私たちはもっともっと誇りにしていいと思いますし、すべきだと思うのです。



番田北高校同窓会から寄贈された明治42年(1909)浜松製オルガン

### 浜松市楽器博物館

【開館時間】 9:30-17:00  
【休館日】 毎月第2,4水曜日(祝日の場合は翌日,8月は無休)  
12/29-1/3,施設点検等の日  
【観覧料】 大人800円 高校生400円  
中学生以下・70歳以上・障害者無料  
TEL.053-451-1128 HP <http://www.gakkihaku.jp>



「Smoke BBQ」Regular ¥1,500 (税抜) アメリカから直輸入したBBQスモーカーで調理。クラフトビールと相性抜群！



「辛味大根ぶっかけ蕎麦」918円 (税込) は大人気の定番メニュー。お酒も種類豊富です。

## OCTAGON BREWING (オクタゴン ブルーイング)

2018年2月にオープンし、たくさんのビール通から注目されている「オクタゴン ブルーイング」。エメラルドグリーンで統一された店内は、まるでプールの様です。浜松でエッジの効いた空間とビールを提供する場所でありたいと願い、毎日でも通いたくなるブリューパブ®を目指しています。

店内奥には自家醸造所があり、1～2週間ごとに入れ替わるフレッシュなビールを最高の状態でいただくことができます。ステンレス製のタンクが並ぶ醸造所を眺めながら飲む新鮮なビールにテンションが上がりそうですね。醸造責任者の千葉さんはドイツでビールづくりを学んだ本格派。千葉さんの理想は「きれいなビール」。雑味やよけいなものを感じない、クリーンな味わいのビール、とのこと。店内で接客していることもあるので、ビールについて聞いてみると詳しく教えてください。メニューは自家醸造ビールが5種類と国内外から集めたクラフトビールが5種類。常に8～9種類のビールが取り揃えられています。初めての方には好きなビールを4種類選べるテイastingセット「Beer Flight (ピアフライト)」がおすすめ。さまざまな風味のビールを楽しめます。

今後はビールをきっかけにコミュニケーションや新たな出会いが生まれるイベントも考えているとのこと。美味しいビールを片手に自然と会話が始まる、そんな時間が過ごせるお店です。

※ブリューパブ=店内にビール醸造所を併設する酒場



**醸造責任者の千葉 恭広さん**  
ベルギービールに魅了され、大学卒業後、ミュンヘン工科大学ビール醸造工学部入学。帰国後は、東京で醸造家の技術指導アドバイザーを務めたビールのスペシャリスト。休日の外出先でも、ふとビールの香りや味のヒラメキを感じてしまうという千葉さん。会話の中に、つくり手としてクラフトビールに対する愛情がいっぱい伝わってくる素敵なお方です。



**OCTAGON BREWING**  
～オクタゴン ブルーイング～  
浜松市中区田町 315-25  
TEL.053-401-2007  
【営業時間】  
月・水・木 18:00～23:00  
金 18:00～24:00  
土 17:00～24:00  
日 15:00～21:00  
【定休日】火曜日

## 百里

肴町で約30年続く「百里」。1階はカウンター席と広めのテーブル席、2階は宴会もできる個室になっています。店内の板場とは別に蕎麦打ち小屋があり、専門の職人さんが毎日打っています。時代や町の移り変わりとともに幅広い年齢層のお客様に愛され、週末はファミリーの来店も増えているとのこと。宴会の締めとしてもヘルシー志向の若者に蕎麦は人気です。



毎日その日に提供する分を打ち、閉店前に売切することも。北海道産の蕎麦粉を中心に、季節や天候によっていろいろな産地の蕎麦粉をブレンドしたり、水分の量を微調整したりして、常にコシのある蕎麦を目指します。自慢の十割蕎麦はコシを保つため冷たいままで、二八蕎麦は温かいお蕎麦も提供しています。夜はお酒や一品料理も。その日の仕入れ状況で、浜名湖産や御前崎産の新鮮な魚介がショーケースに並びます。これからの季節は脂ののった戻りガツオの刺身、金目鯛のしゃぶしゃぶを始めとした鍋料理、牡蠣やサクラエビなどが旬。静岡県産の日本酒や焼酎、梅酒などドリンクも豊富なので料理に合わせて選んでみてくださいね。お酒の締めはやっぱり蕎麦。中でも千切り大根と一緒に茹でた大根蕎麦が料理長のおすすめ。蕎麦と大根の食感を楽しめます。年末年始には年越し蕎麦の注文も受付しているとのこと。料理長曰く、茹でる時間は30秒のみ、すぐに冷水で締めるのが美味しい茹で方だそうです。自宅で早速試してみたいですね。



**料理長の河合 利彦さん**  
お休みには温泉に入るのが楽しみで、先日は信州までドライブをして足を伸ばしたそう。温泉だけでなく、ジビエも良かったとお話してくださいました。猪肉、鹿肉、熊肉などの珍しい食材を鍋や焼き肉で堪能されたそうです。料理への探求心が表れていますね。



**百里**  
浜松市中区肴町 318-24  
TEL.053-452-2021  
【営業時間】  
11:00～14:00  
日 17:00～21:00  
月～土 17:00～23:00  
【定休日】  
不定休 (1月1日はお休み)

## イベントスケジュール

2018.9 ▶ 2018.12

## HCFオンラインショップ

http://www.hcf.or.jp/

HCFオンラインショップをぜひご利用ください。  
様々な公演のチケットが、24時間オンラインで購入できます。

- ★システム利用料0円・券手数料0円
- ★送料などの実費はかかりますが、その他の手数料は一切なし。
- ★クレジット決済 / 送料450円(全国一律)
- ★代金引換 / 送料450円+代引手数料(実費)
- ★スマートフォン・タブレットからもアクセスできます。
- ★直接アクティビティチケットセンター窓口で購入(現金のみ)もできます。詳しくはHPをご覧ください。http://hcf.or.jp/

## 特別収蔵展「浜松文芸館30年の歩み」

7.9(月)~10.7(日) 9:00~17:00

- 浜松文芸館(クリエート浜松5階)
- 創立30周年の記念展示。ポスター、チラシなどたる浜松文芸館30年の足跡と歴史。浜松が生んだ10人の文芸人の作品、直筆原稿等を紹介。
- 浜松文芸館 TEL.053-453-3933



## ジュニアオーケストラ浜松 第24回定期演奏会

9.2(日) 13:30

- アクティビティ浜松 中ホール
- 全席自由:500円 ※4歳未満入場不可
- 曲目:  
ベートーヴェン/ピアノ協奏曲第4番ト長調 Op.58 (Pf.今西泰彦)  
ドヴォルザーク/交響曲第7番ニ短調Op.70 ほか
- 文化事業課 TEL.053-451-1151



## New Artist Series アクト・ニューアーティスト・シリーズNo.115 キム・ヒョンジュン(ピアノ)

9.2(日) 15:00

- アクティビティ浜松 音楽工房ホール
- 全席自由:一般2,500円 学生1,000円(24歳以下)
- ※未就学児の入場不可
- 曲目:ブラームス/ピアノソナタ第3番 Op.5 ほか
- 文化事業課 TEL.053-451-1114
- 協賛:HAMANA 浜名朝包輸送株式会社



## 平成30年度公文協西コース 松竹大歌舞伎

9.6(木) 昼の部13:00/夜の部17:30

- アクティビティ浜松 大ホール
- 全席指定:  
一等席6,500円 二等席5,500円  
夜の部幕見席3,000円(当日指定)  
学生席1,000円(24歳以下・当日指定)
- ※未就学児の入場不可
- ※夜の部に限り、「まもの」でお越しいただいたお客様にはプログラム1冊サービスいたします。
- 文化事業課 TEL.053-451-1114



©松竹

## ゆるやかワークショップ

## お母さんと赤ちゃんのエクササイズ

9.6(木) 10:30-11:30

- 浜北文化センター 2階多目的室
- 大人1人500円(赤ちゃん無料)
- 定員:親子ペアで30組(大人1人につき、3ヶ月以上1才未満の赤ちゃん1人)
- ゆるやかコンサートの番外編
- 自宅で赤ちゃん楽しくコミュニケーションを取る方法や産後ママのための体操
- 講師:石川千栄さん(浜松市子育てサロンひなたぼっこ)
- 浜北文化センター TEL.053-586-5151

## ACTIVITY Premium Series アクト・プレミアム・シリーズ2018 ~世界の名演奏家たち~Vol.8 ミツシャ・マイルスキー(チェロ)

9.7(金) 19:00

- アクティビティ浜松 中ホール
- 全席指定:S席8,500円 A席7,000円 B席・学生B席 完売
- ※未就学児の入場不可
- 曲目:J.S.バッハ:無伴奏チェロ組曲 第1番 ト長調 BWV1007  
チャイコフスキー:ピアノ三重奏曲 イ短調 Op.50  
「偉大な芸術家の思い出」ほか
- 文化事業課 TEL.053-451-1114
- 特別協賛:オリックスグループ



©Bernard Rosenberg/DG

## ジュニアクワイア浜松 第24回定期演奏会

9.9(日) 13:30

- アクティビティ浜松 中ホール
- 全席自由:500円 ※4歳未満入場不可
- 曲目:赤い鳥小鳥/信長貴富 編曲 ほか
- 文化事業課 TEL.053-451-1151



## 第10回浜松国際ピアノコンクール開催記念ガラ・コンサート 覇者たちによるコンチェルトの饗宴

9.16(日) 17(月・祝) 14:00

- アクティビティ浜松 大ホール
- 全席指定:S席8,000円 A席6,500円 B席・学生B席 完売
- 2公演セット券 S席13,000円 A席11,000円
- ※未就学児の入場不可
- 16日出演者・曲目:  
アレクサンダー・コプリン プラームス/ピアノ協奏曲 第2番  
アレクサンダー・ガジェヴ ラフマニノフ/ピアノ協奏曲 第3番  
アレクサンド・バックス チャイコフスキー/ピアノ協奏曲 第1番
- 17日出演者・曲目:  
アレクセイ・ゴラッチ ベートーヴェン:ピアノ協奏曲 第5番「皇帝」  
イリヤ・ラシュコフスキー プラームス:ピアノ協奏曲 第1番  
アレクサンダー・ガヴリリュク ラフマニノフ:ピアノ協奏曲 第2番
- 文化事業課 TEL.053-451-1114
- 協賛:S&L サラグループ

## オルガンミニコンサートNo.90

9.21(金) 12:30(12:50終演予定)

- アクティビティ浜松 中ホール
- 入場無料 ※小さなお子様も入場できます
- オルガン:久保田 真矢
- 文化事業課 TEL.053-451-1151

## 第16回浜松市民文化フェスティバル

9.23(日)

- 邦楽演奏会 13:00
- アクティビティ浜松 中ホール
- 入場無料(要整理券)
- 第11回吹奏楽トップコンサート 13:00
- アクティビティ浜松 大ホール
- 全席自由:一般1,000円 学生500円
- ※未就学児の入場不可

9.29(土)~30(日)

- 特別支援学校作品展
- アクティビティ浜松 市民口ビー
- 観覧無料

9.29(土)

- 小学校部門 13:00
- アクティビティ浜松 中ホール
- 入場無料

- 民謡と舞踊の集い 13:00
- アクティビティ浜松 大ホール
- 入場無料

9.30(日)

- 浜松市民合唱祭2018 10:00(予定)
- アクティビティ浜松 中ホール
- 入場無料

- 浜松おどり(日舞) 13:00
- アクティビティ浜松 大ホール
- 全席自由:1,500円

10.14(日) 17:00

- パレ・ダンスの祭典
- アクティビティ浜松 大ホール
- 全席自由:1,500円(当日券は200円up)

10.21(日) 12:30(予定)

- 第16回浜松市中学校総合文化祭
- アクティビティ浜松 大ホール
- 入場無料
- 文化事業課 TEL.053-451-1151

## 楽器博物館講座~楽器の中の聖と俗~(全2回)

## 第1回「奥美濃に残る武将の舞い 嘉喜踊り/谷汲踊り」

9.23(日) 13:30

- 研修交流センター
- 1,000円 ※7/23(月)9:30~電話で申込
- 講師:西岡信雄(大阪音楽大学名誉教授、浜松市楽器博物館名誉館長)
- 楽器博物館 TEL.053-451-1128



## 楽器博物館講座~楽器の中の聖と俗~(全2回)

## 第2回「琉球王朝の新春 朝拝御規式」

9.30(日) 13:30

- 研修交流センター
- 1,000円 ※7/23(月)9:30~電話で申込
- 講師:西岡信雄(大阪音楽大学名誉教授、浜松市楽器博物館名誉館長)
- 楽器博物館 TEL.053-451-1128



## 50th ANNIVERSARY アクト・ワンコインコンサート2018 中川英二郎(トロンボーン)

10.1(月) 11:30(12:30終演予定)

- アクティビティ浜松 中ホール
- 全席自由:500円(チケットレス)
- ※当日会場入口にて入場料をお支払いください。
- ※満席となった際は、入場をご遠慮いただく場合がございますので予めご了承ください。
- ※未就学児の入場不可
- 文化事業課 TEL.053-451-1114



中川英二郎 林正樹 ©武藤章

## ゆるやかワークショップin天竜Vol.4

## お母さんと赤ちゃんのエクササイズ

10.11(木) 10:30~11:30

- 天竜壬生ホール リハーサル室
- 大人ひとりにつき500円(来館・Tel申込み9/15~)
- 定員:3ヶ月以上1歳未満の赤ちゃんとお母さんペアで20組(事前申込制)
- 天竜壬生ホール TEL.053-922-3301



## ヴァレリー・アフアナシエフ ピアノ・リサイタル

10.11(木) 19:00

- アクティビティ浜松 中ホール
- 全席指定:S席8,000円 A席6,000円 B席4,000円
- ※未就学児の入場不可
- 文化事業課 TEL.053-451-1114

## ディズニー・オン・クラシック

## ~まほうの夜の音楽会 2018

10.12(金) 19:00

- アクティビティ浜松 大ホール
- 全席指定:S席8,300円 A席6,700円 B席5,200円
- ※未就学児の入場不可
- K-mix企画事業部 TEL.053-457-1103 (平日9:30~18:00)



## 第27回ハママツ・ジャズ・ウィーク

10.20(土) 12:30

- スチューデントジャズフェスティバル
- アクティビティ浜松 中ホール
- 全席自由:一般前売800円(当日200円UP) 高校生以下500円(前売・当日)
- ※3歳以下無料

10.21(日) 14:00

- 佐藤充彦のジャズ目線じゃあ
- アクトシティ浜松 音楽工房ホール
- 全席自由:前売2,500円(当日500円UP)
- ※未就学児の入場不可
- 出演:佐藤充彦、加藤真一、橋本学、上杉亜希子

10.27(土) 14:00

- 親子で楽しむジャズコンサート
- クリエート浜松ホール
- 全席自由:一般前売2,500円(当日500円UP)
- 小学生以下1,000円(前売・当日)

- ※3歳以下膝上無料
- 出演:モダンギャグカルテット〜おかささんといっしょ+ケロボンズ
- 中川ひろたか、岡淳、大友剛、俄山昌之、江藤良人
- ケロボンズ(増田裕子、平田明子)

10.28(日) 13:00

- ヤマハジャズフェスティバル
- アクトシティ浜松 大ホール
- 全席指定:S席8,000円 S席7,000円 A席5,000円
- B席3,000円 4階席2,000円(全席自由)

- ※未就学児の入場不可
- Part1.大林武司トリオ ●Part2.八代亜紀
- Part3.Bohuslän Big Band featuring TOKU



●ハママツ・ジャズ・ウィーク事務局 TEL.053-460-3325

楽器博物館親子ワークショップ  
「羊毛フェルトで楽器の絵を描こう!」

10.28(日) 13:30

- 研修交流センター
- 参加費:500円
- 対象:小学生とその保護者 10組(先着順)
- ※8/28(火)9:30〜電話で申込
- 講師:安岡真理
- (静岡市美術館学芸員)ほか
- 楽器博物館 TEL.053-451-1128



グランシップ出前公演  
しずおか連詩の会2018in浜松

10.28(日) 14:00

- アクトシティ浜松 研修交流センター 音楽工房ホール
- 入場料:500円
- 参加詩人:野村喜和夫、古川日出男、カニエ・ナハほか
- 文化事業課 TEL.053-451-1131

おもろい女

10.31(水) 14:30

- アクトシティ浜松 大ホール
- 全席指定:S席・A席 完売
- ※未就学児の入場不可
- 文化事業課 TEL.053-451-1114



天竜区ふれあいコンサート

11.4(日) 14:00~15:30

- 浜松市春野中学校講堂
- 入場無料
- 出演:村上達哉(テノール)
- 有賀美聡(ソプラノ)
- 小池紘子(ピアノ)
- 浜松市天竜区ふれあいコンサート
- 実行委員会事務局
- TEL.053-922-3301



セクスイハイムpresents  
アシュケナー・ジ・辻井伸行 アイランド交響楽団

11.4(日) 15:00

- アクトシティ浜松 大ホール
- 全席指定:S席18,000円 A席15,000円
- B席12,000円 C席9,000円
- ※未就学児の入場不可
- 曲目:  
シベリウス/カレリア組曲  
ショパン/ピアノ協奏曲 第2番  
シベリウス/交響曲 第2番
- 静岡朝日テレビ事業部 TEL.054-251-3302(平日10:00~18:00)



ゆるやかコンサート秋 パーカッションとピアノ

11.5(月) 10:30~11:20

- 浜北文化センター 小ホール
- 高校生以上1人500円
- 同伴のお子様(0歳~中学生まで)は無料
- 対象:赤ちゃん及びお子様(小学生以下)を
- お連れの子育て中の保護者。
- 定員:200名
- 出演:龜田華葉(かよ)(パーカッション)、星野雅子(ピアノ)
- 申込:10/16(火)13:30~電話または浜北文化センター事務局
- 浜北文化センター TEL.053-586-5151



第10回浜松国際ピアノコンクール

11.7(水) 19:00

- オープニング・コンサート「アレクサンダー・ガジェフ」
- アクトシティ浜松 大ホール
- 全席指定:S席3,000円 A席2,000円
- 学生A席1,000円(24歳以下)
- ※未就学児の入場不可
- 曲目:ショパン/12の練習曲 Op.25
- プロコフィエフ/ピアノ・ソナタ第6番 ほか



11.9(金)~13(火) 10:30

- 第1次予選
- アクトシティ浜松 中ホール
- 全席自由(各日):一般1,000円 学生500円(24歳以下)
- ※未就学児の入場不可

11.15(木)~17(土) 10:30

- 第2次予選
- アクトシティ浜松 中ホール
- 全席自由(各日):一般1,500円 学生500円(24歳以下)
- ※未就学児の入場不可

11.18(日) 13:30

- 委嘱作品作曲家作品講座
- アクトシティ浜松 音楽工房ホール
- 全席自由:一般1,000円 学生500円(24歳以下)
- ※未就学児の入場不可

11.19(月) 12:30 11.20(火) 10:00

- 第3次予選
- アクトシティ浜松 中ホール
- 全席自由(各日):一般2,200円 学生500円(24歳以下)
- ※未就学児の入場不可

11.22(木) 13:00

- 審査委員によるマスタークラス
- アクトシティ浜松 音楽工房ホール
- 全席自由:一般1,000円 学生500円(24歳以下)
- ※未就学児の入場不可

11.23(金・祝) 18:00 11.24(土) 14:00

- 本選
- アクトシティ浜松 大ホール
- 指定(各日):4,500円(1F)
- 自由(3・4F)(各日):一般2,200円 学生1,000円(24歳以下)
- ※未就学児の入場不可

11.24(土) 17:30

- 表彰式
- アクトシティ浜松 大ホール
- 全席自由:入場無料
- ※未就学児の入場不可

11.25(日) 15:00

- 入賞者披露演奏会
- アクトシティ浜松 大ホール
- 全席指定:一般2,000円 学生1,000円(24歳以下)
- ※未就学児の入場不可
- 浜松国際ピアノコンクール事務局 TEL.053-451-1148
- ※特集1(P4~13)もご覧ください。

二俣城跡及び鳥羽山城跡  
国史跡指定記念シンポジウム

11.11(日) 13:00~16:00

- 天竜壬生ホール
- 入場無料(事前申込制)
- 天竜壬生ホール TEL.053-922-3301

楽器博物館特別展 明治150年記念  
「教室で出逢った唱歌と童謡~音楽教科書が語る日本のあゆみ~」

11.15(木)~1.6(日)

- 楽器博物館 展示室
- ※常設展観覧料でご覧いただけます。
- 美しいメロディに美しい言葉を載せて日本人の心を作ってきた唱歌の歴史を、教科書や浮世絵から探る。
- 楽器博物館 TEL.053-451-1128



特別展講演・演奏会「音楽を超えて~文部省唱歌のめざしたもの」

12.8(土) 18:30

- 楽器博物館 天空ホール
- 参加費:500円
- 対象:高校生以上(定員100人) ※10/8(月)9:30~電話で申込
- 講師:澤崎真彦(東京芸術大学名誉教授)ほか
- 楽器博物館 TEL.053-451-1128

浜北文化センターふれあい感謝祭  
~日頃のご利用に感謝をこめて~

12.8(土)・9(日) 10:00~16:00

- 浜北文化センター 大ホール他
- 入場無料(飲食など一部有料)
- 8(土):踊りの祭典(阿波踊り、日本舞踊、パレエ、フラダンスなど)
- 9(日):音楽の祭典(吹奏楽、合唱、マジックなど(予定))
- ※エントランス・多目的室 2日通して作品展示 編み物・水墨画・油彩など
- 浜北文化センター TEL.053-586-5151

New Artist Series  
アクト・ニューアーティスト・シリーズNo.116  
城宏恵(テノール)

12.16(日) 15:00

- アクトシティ浜松 音楽工房ホール
- 全席自由:一般2,500円 学生1,000円(24歳以下)
- ※未就学児の入場不可
- 曲目:ドニゼッティ:歌劇「ラモルモールのルチア」より
- 「我が祖先の墓よ~やがてこの世に別れを告げよう」ほか
- 文化事業課 TEL.053-451-1114
- 協賛:HAMANA



アクト・プレミアム・シリーズ2018  
~世界の名演奏家たち~Vol.9  
小曾根真 THE TRIO  
クリスマス・ジャズ・ナイト2018

12.17(月) 19:00

- アクトシティ浜松 中ホール
- 全席指定:S席8,000円 A席6,500円
- B席5,000円 学生B席2,500円(24歳以下)
- ※未就学児の入場不可
- 文化事業課 TEL.053-451-1114
- 特別協賛:オリックスグループ
- ※特集2(P14~17)もご覧ください。



ゆるやかコンサート冬 フルートとピアノ

12.19(水) 10:30~11:20

- 浜北文化センター 小ホール
- 高校生以上1人500円 同伴のお子様(0歳~中学生まで)は無料
- 対象:赤ちゃん及びお子様(小学生以下)をお連れの子育て中の保護者。
- 定員:200名
- 出演:篠田文(あや)(フルート)、渡邊浩(ピアノ)
- 申込:11/28(水)13:30~電話または浜北文化センター事務局
- 浜北文化センター TEL.053-586-5151

MIBUワークショップ発表公演 Vol.16

12.23(日) モダンダンス13:00~ ミュージカル18:00~(予定)

- 天竜壬生ホール
- 入場料(1公演につき):
- 一般700円 高校生以下500円
- 天竜壬生ホール
- TEL.053-922-3301



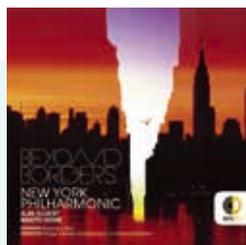
チケット販売場所 アクトシティチケットセンター HCFオンラインショップ <http://www.hcf.or.jp/> チケットぴあ  
この情報は2018年8月10日現在のものです。都合により日時、金額など変更になる場合もございますのであらかじめご了承ください。

④ 店員さんに聞きました！  
おすすめCDのご紹介



ディメンションズ：  
小曽根真 THE TRIO

UCCJ-2144 ¥3,240 (税込)



ビヨンド・ボーダーズ：  
アラン・ギルバート (指揮)、  
ニューヨーク・フィルハーモニック、  
小曽根真 (p)

UCCU-1568 ¥3,240 (税込)

今年の春、紫綬褒章を受章された小曽根真さん。小曽根真 THE TRIOの12年ぶりのアルバム「ディメンションズ」を昨年の夏に発売し、今年3月には初のクラシック・アルバム「ビヨンド・ボーダーズ」を発売しています。

1997年～2007年にかけて活動し、人気を博した小曽根真 (p)、ジェームス・ジーナス (b)、クラレンス・ペン (ds) による小曽根真 THE TRIOが10年ぶりに集結し、全曲が小曽根真オリジナル (1曲を除き全曲が今回の新作のための書き下ろし) の「ディメンションズ」は THE TRIOファンを喜ばせました。

近年はクラシックにも本格的に取り組み、国内外の主要オーケストラと、バーンスタイン、モーツァルト、ラフマニノフ、プロコフィエフなどの協奏曲で共演を重ね、「比類のない演奏で、観客は魅了され大絶賛した」(北独ハノーファー新聞) など高い評価を得ています。

「ビヨンド・ボーダーズ」はガーシュインの「ラプソディ・イン・ブルー」とバーンスタインの「交響曲第2番 “不安の時代”」をニューヨーク・フィルハーモニックと

アラン・ギルバート (指揮) と共演。ニューヨーク・フィルハーモニックの定期演奏会「バーンスタイン生誕100周年祭」にソリストとして出演し、アメリカの生んだ2大作曲家による交響曲を熱演、聴衆からはスタンディングオベーションが巻き起こりました。ジャズやクラシックといった音楽のジャンルの壁を見事に乗り越えた渾身のパフォーマンスを、会場の熱気と共に味わえるライブ録音です。

ジャズ・シーンの第一線で活躍を続けながら、様々なことに挑戦している小曽根さんは紫綬褒章を受け、「これを励みにボーダーレスな世界をさらにクリエイティブにできるように頑張りたいと思います。」とコメントされています。

また12月に行われるアクト・プレミアムシリーズ「小曽根真 THE TRIOクリスマス・ジャズ・ナイト2018」では、実際にライブを聴くことができます。その瞬間でしか聴くこと、体感することのできないライブも必見です！

[2F 楽譜・CD売場] 長尾 真奈美



ヤマハミュージッククリテイリング 浜松店

10時30分～19時 [定休日] 水曜日  
〒430-0933 静岡県浜松市中区鍛冶町321-6  
[2F 楽譜・CD売場] TEL.053-454-4419



# INTRODUCTION NOTES

～音楽へのいざない～

## Vol.2 これぞ名人芸！聴衆が熱狂した「ヴィルトゥオーゾ」たち

いよいよ11月に開催が迫る「第10回浜松国際ピアノコンクール」。今回も90名を超える出場者たちが世界各国から浜松に集います。コンクールを見守る聴衆は、事前の予備審査をくぐり抜けてきた彼らの情感豊かな表現に心をうたれ、複雑なスケールや和音進行を正確に演奏する技術力に目を見張ります。そんな彼らはまさに“ヴィルトゥオーゾ”のよう。

“ヴィルトゥオーゾ”とは、卓越した技術力とカリスマ的な存在感をもつ音楽家のこと。その登場は18世紀までさかのぼります。それ以前、ほとんどの音楽家は王族や貴族、教会などの保護のもとで活動をしていましたが、18世紀後半にブルジョア階級(資本家階級)が台頭すると保護制度が衰退し、音楽家たちの多くはコンサートに集まってくる不特定多数の聴衆に向けて活動をするようになりました。

そのような中で、作曲家たちは社会の中で地位を得て収入を確立するために、より多くの聴衆を惹きつける作品を作らなければならなくなりました。演奏家たちは技術力を高め、超絶技巧を駆使した演奏を目指します。そんな彼らが“ヴィルトゥオーゾ”として聴衆から絶大な人気を集めました。

当時のヨーロッパで“ヴィルトゥオーゾ”がもてはやされるきっかけとなったのは、ヴァイオリニストのバガニーニです。あまりの演奏能力の高さに「悪魔に魂を売り渡した」とも言われたそう。バガニーニの影響を受け、超絶技巧を目指したピアニストとしてリストが有名です。端正な顔立ちから女性ファンも多く、コンサートで失神してしまう人もいたのだとか。まさにアイドルのコンサートのようなですね。

現代の演奏家にとって、コンクールは世界に飛び立つ大きなきっかけの一つ。浜松では最終的な入賞者は多くの出場者の中からたった6名の厳しい世界です。大きな夢を抱いて出場する若いピアニストたち。日々の鍛錬の成果を発揮できるよう願います。



### バガニーニのヴァイオリン曲

- ◆『24の奇想曲』より 第24曲 イ短調  
…後のブラームス、ラフマニノフなどがこの主題を使用してピアノ曲に編曲しています
- ◆ヴァイオリン協奏曲 第2番 ロ短調  
…第3楽章の主題が有名。オーケストラとの掛け合いが印象的です

### リストのピアノ曲

- ◆『バガニーニによる大練習曲』第3番 嬰ト短調「ラ・カンパネラ」  
…前述のバガニーニ「ヴァイオリン協奏曲 第2番 第3楽章」の主題を編曲したものです
- ◆『超絶技巧練習曲』より 第4曲 ニ短調「マゼッパ」、第5曲 変ロ長調「鬼火」  
…特に有名な「マゼッパ」は通常二段で書かれる譜面が三段で書かれており、鍵盤の上での腕の移動など高い技術が必要。「鬼火」は「のためかンタービレ」で主人公のためが弾いたことで有名に

### 舞台袖

7月に開催されたアジア・太平洋吹奏楽大会 (APBDA)。海外から14団体が来日して市内各地で演奏会を行いました。各区のサテライトコンサートでは参加団体同士の国際交流も大事なイベントの一つ。団体の自己紹介、名刺交換、クイズ大会などで交流を深めました。進行役となってくれたのは地元の高吹奏楽部の皆さん。時には流ちょうな英語も駆使して参加者全員を盛り上げ、自身も楽しんでいる姿はとてども頼もしく、スタッフには嬉しく心強い存在でした。



**アクトシティ浜松(施設のご予約)**

〒430-7790 浜松市中区板屋町111-1  
TEL.053-451-1111 FAX.053-451-1123

**アクトシティ浜松(事業のご案内)**

〒430-7790 浜松市中区板屋町111-1  
TEL.053-451-1114 FAX.053-451-1123

**浜松市アクトシティ音楽院**

〒430-7790 浜松市中区板屋町111-1  
TEL.053-451-1150 FAX.053-451-1123



**クリエート浜松**

〒430-0916  
浜松市中区早馬町2-1  
TEL.053-453-5311  
FAX.053-453-5379



**浜松文芸館**

〒430-0916  
浜松市中区早馬町2-1  
クリエート浜松4・5階  
TEL.053-453-3933  
FAX.053-453-3933



**浜松科学館**

〒430-0923  
浜松市中区北寺島町256-3  
TEL.053-454-0178  
FAX.053-454-0184

(改装のため2019.7月まで休館。  
別施設にて事業開催中)



**浜松市浜北文化センター**

〒434-0038  
浜松市浜北区貴布祢291-1  
TEL.053-586-5151  
FAX.053-586-5153



**浜松こども館**

〒430-0933  
浜松市中区鍛冶町100-1  
TEL.053-450-9111  
FAX.053-458-0300



**浜松市天竜壬生ホール**

〒431-3314  
浜松市天竜区二俣町二俣20-2  
TEL.053-922-3301  
FAX.053-922-3300